

モーツァルト生誕 250周年や「のだめカンタービレ」から始まったクラシックブーム。その熱は、まだまだ冷める気配はなさそう…ということで、今月は、クラシック特集です。耳なじみの曲やどこかで聴いたことのある曲を改めてご紹介します。そして、クラシックは生で聴くのが一番!です。これから行われるクラシックイベントをまずご紹介しましょう。お休みにはぜひ足を運んでみてはいかがでしょうか?

気になる

We love Classical Music

クラシックを
体感しよう!



その
1

ラ・フォル・ジュルネ・オ・ジャポン 「熱狂の日」音楽祭2008 —シューベルトとウィーン—

“スニーカー履きの普段着で気軽に楽しめる”クラシックイベントが、今年もやってきました。1995年にフランスの港町ナントで誕生したこの音楽祭は、日本でもすっかり定着したイベントです。会場となる丸の内周辺は、街中に音楽が鳴り響いてさながら“音楽の街”に迷いこんだよう。

今年のテーマは「シューベルトとウィーン」。代表作を中心に“音楽の都”ウィーンで活躍した作曲家の作品が取り上げられます。“歌曲王”と称されたシューベルトだけに、メロディアスな名曲がたっぷり味わえます。ひとつのプログラムが45分なので気軽にハシゴするもよし、お気に入りのアーティストや曲目を追いかけるもよし、思い思いに楽しむことができますよ。とくにオススメは、「合唱の神様」と呼ばれる巨匠ミシェル・コルボ（指揮），“弾き振り”を披露するクリスティアン・ツァハリアス（P & 指揮）、トリニダード・トバコ発のレネゲイズ・スティール・バンド・オーケストラあたり…。また無料コンサートやキッズイベント、マスタークラスとさまざまな楽しみ方があるので、このゴールデンウィークにぶらりと出かけてみるのもいいでしょう。



©久保靖夫

©三浦興一

©久保靖夫